

# 新潟県立新潟高等学校 創立百二十周年記念事業報告

## お礼のごとば

学校長 草間 俊之

青山同窓会の皆様方には、本校創立百二十周年記念事業の実施に当たり、格別の御尽力を賜り、感謝申し上げます。

10月20日の記念式典、そして記念講演会及び演奏会は、いつまでも生徒の思い出に残るものと思います。また、記念事業の一環として設置していただきました電子黒板ユニットは、今後、学力向上における本校の新たな飛躍に寄与するものと確信しております。

今後とも、生徒とともに、教職員一同、青山120年のよき伝統を後世に引き継ぐべく、頑張つてまいりたいと思っております。最後に、青山同窓会の今後益々の御発展を祈念申し上げて、御礼とさせていただきます。

## 式辞

新潟県立新潟高等学校創立百二十周年記念式典に当たり、新潟県教育委員会様をはじめ、多数の御来賓の皆様方の御臨席を賜り、心から御礼申し上げます。有難うございます。

ここに本校創立百二十周年記念式典を挙げていきますことは、青山同窓会をはじめとする関係者の皆



様は勿論のこと、生徒、保護者、教職員にとりましても、誠に有難きことであり、大いなる喜びであります。創立以来、これまで新潟高等学校を支えていただきました全ての皆様方に、謹んで、衷心より敬意と感謝の意を表するものであります。また、青山同窓会、PTAからなる記念事業実行委員会には、記念事業として、全教室に電子黒板ユニットを設置していただきました。この場をお借りして、改めて、御礼申し上げます。有難うございました。

新潟県立新潟高等学校は、明治24年12月の勅令「尋常中学校は各府県に於いて一校を設置すべきものとす」に基づき、新潟県議会において、「将来国家の本幹たる青少年子弟を養成するところ」と位置づけられ、翌、明治25年、本県唯一の新潟県尋常中学校として開校

したものであります。爾来、幾多の変遷を経て、明治大正、昭和、平成に渡り、その時代の波動を受けながらも、設立当初の使命に込め、この青山の地で、理想に燃え、真理を求めて己まなしい真摯な若者の学舎として、これまで4万人の有為な人材を国内外の各界に輩出しつつ、120年の歴史と伝統を積み重ね、今日に至っております。

本校創立百二十周年からの10年を顧みれば、昭和23年に、通信教育部として発足した通信制課程は、本県、勤労学生の学びの原点として、厳しい社会生活の心のよりどころとして、校歌をともにしてまいりましたが、平成18年3月をもって、新潟県立高等学校に統合された、惜しまれながらも、本校の58年の歴史に幕を閉じたのであります。

現在の新潟高等学校は、勉学においては、今春の東京大学や京都大学など、いわゆる難関大学と医学部医学科への入学者数では、全国公立高校の上位に位置するなど、全国にその名が知られております。

部活動においても、2012北信越かがやき総体では、陸上競技部が、女子800メートル、全国三位に入賞し、更に、先般の岐阜国体では、全国優勝を飾りました。また、将棋部は、全国高等学校竜王戦で二連覇を達成し、加えて、新潟県アマチュア名人を獲得したところでもあります。

他にも、多くの部が全国大会に出場するなど、勉学に追われ、限られた時間の中ではありますが、日々、逞しく、活動しております。また、伝統行事の青陵祭では、雨の中の全校応援、縁あって青山に集う青陵健児が、心を一つにして歌うますらをが、青山に併したとき、忘れていた豊かな感情が蘇ってきたのであります。

それは、伝統と歴史の中で、若者の激発する感情、非合理的なパトスを理性をもって制御し、ロマン溢れる、美しいフォルム、ますらをに仕上げられ、受け継がれているものと思われるのであります。勉学は勿論のこと、部活動や学校行事において、自主自律の精神のもと、仲間とともに切磋琢磨し、青春を謳歌する姿は、まさに、青陵健児ここに在りと自負しております。

さて、青陵健児の皆さん、未来は歴史の中にあります。本日の式典に臨み、先人の労苦を偲び、その歴史に思いを寄せ、自分を省みることともに、現在の世界に思いをめぐらし、未来に思いを馳せてほしいのであります。

いつの時代にあつても、若者は、好むと好まざるとにかかわらず、未来に向かつて、期待される存在であります。現在、我が国は、経済、財政上の問題、外交上の問題等々、多くの課題を抱えており、いわば内憂外患ともいふべき状況にあるといわれております。

その課題解決は、否応なく、皆さんに委ねられては、否からあります。皆さんには、これからの日本を、世界を、我々が変えてやるぞという気概と覚悟、志を高くもつて、大学に入るための受験勉強のみならず、いわゆるポピュリズムやマニピュレーションに打ち克つ、幅広い確かな教養を身に付けるべく、真に、学ぶことに支えられた青春の探求を願つて已みません。

# 21世紀型学習環境の整備 —コンピュータ化とエコ対応—

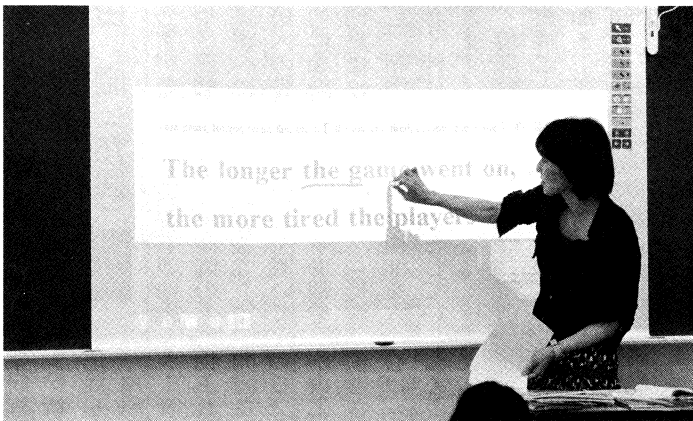
実行委員 事業部

横堀 真弓 (91回)

83卒

創立百二十周年記念事業の大きな柱である標記事業の設備工事が、8月17日に完了し、全30教室に、エア効率の良い窓フィルムと、電子黒板を始めとするICT機器設備が整えられました。

現在、ICT設備を用いた新たな授業が展開されています。県内初であり全国でもあまり類をみない画期的な取り組みです。電子黒板の導入により、視覚に訴え、生徒の理解を高めることができます。また、一つのテーマに教室全体が集中し、生徒はますます生き生きと授業に臨んでいます。このような恵まれた学習環境を実現していただきました青山同窓会の大きな力に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



電子黒板を使った授業風景